

産地生産基盤パワーアップ事業評価書

都道府県名	事業実施 地区数 ア	評価対象 外地区数 イ	評価対象 地区数 アーイ	成果目標の 平均達成率	評価対象 地区数のうち、都道府 県が地域 協議会へ 改善指導を 必要とした 地区数	地方農政 局等から都 道府県計 画の改善 指導の必要の有無	【参考】 評価対象 地区数のうち、達成率 80%未満の 地区数	都道府県による総合所見	地方農政局等による総合所見
青森県	3	0	3	55.0%	2	有	2	・令和6年を評価年とする3産地のうち、1産地で目標を達成し、2産地で目標未達成となった。 ・このうち、「販売額又は所得額の10%以上の増加」に向けた取組（令和6年を評価年とする産地数：2産地）では、2産地とも目標未達成となり、「労働生産性の10%以上の向上」に向けた取組（令和6年を評価年とする産地数：1産地）では、1産地が目標を達成した。 ・機械や資材の導入により作業の効率化や品質の安定につながっているものの、一部の取組主体においては労働力の確保や予想を上回る高温の影響に対応しきれず、目標未達成となった場合があった。 ・今後は、労働力の確保を含めた適正な栽培管理のための生産体制の構築を支援するほか、排水対策の実施や適期適正管理など、基本技術の励行を徹底するよう、関係機関が一体となって指導していく。 ・また、高温や大雨等の気象に対応した対策技術について継続的に指導し、安定生産を支援していく。	県の成果目標の平均達成率は55.0%であり、成果目標を達成していない。 評価対象3地区中、達成率90%以上が1地区、達成率90%未満が2地区である。 達成率90%未満の地区の成果目標は、すべて販売額の増加で、未達成の主な要因は、労働力不足による播種作業の遅れに伴う生育不良、高温による生産量が減少したことなどである。 成果目標の達成率が90%未満の2地区については、県の改善措置を踏まえ、地域協議会等における目標達成に向けた取組の改善が必要である。
岩手県	8	3	5	73.4%	3	有	3	令和5年度目標の5地区の産地パワーアップ計画について評価を行ったところ、2地区において目標を達成したが、3地区については目標未達となった。 達成した2地区では、受益面積の計画的拡大と安定品質の確保、雇用の確保による生産体制の安定化等の取組により販売額の増加に繋がった。一方、未達成となった3地区の主な減収要因は、野菜では高温・乾燥による花落ちや尻腐れの発生、長雨による排水不良、水稲では復興農地での地力不足であった。 今後は、基本技術（栽培管理、病虫害防除、圃場選定、排水対策）の徹底のもと、各産地の課題を明確にし、地域協議会と連携しながら課題解決の支援を行い、早期目標達成に向け取り組んでいく。	県の成果目標の平均達成率は73.4%であり、成果目標を達成していない。 評価対象5地区中、達成率90%以上が2地区、達成率90%未満が3地区である。 達成率90%未満の3地区の成果目標は、すべて販売額の増加を目標としており、未達成の主な要因は、灌水不足、排水不良による生産量の減少、復興農地の地力不足による生産量の減少などである。 成果目標の達成率が90%未満となった3地区については、県の改善措置を踏まえ、地域協議会等における目標達成に向けた取組の改善が必要である。

都道府県名	事業実施 地区数 ア	評価対象 外地区数 イ	評価対象 地区数 アーイ	成果目標の 平均達成率	評価対象 地区数のうち、都道府 県が地域 協議会へ 改善指導を 必要とした 地区数	地方農政 局等から都 道府県計 画の改善 指導の必要の有無	【参考】 評価対象 地区数のうち、達成率 80%未満の 地区数	都道府県による総合所見	地方農政局等による総合所見
宮城県	4	0	4	87.0%	1	有	1	評価対象地区4地区のうち、3地区は目標を達成したが、1地区は目標未達成であったため、都道府県平均達成率は87.0%となった。 目標が未達となった1地区については、福島県沖地震の復旧工事に長期間を要したことが原因である。今後は安定生産と販路確保に努め、早期に目標が達成されるよう、関係機関との連携のもと指導する。	県の成果目標の平均達成率は87.0%であり、成果目標を達成していない。 評価対象4地区中、達成率90%以上が3地区、達成率90%未満が1地区である。 達成率90%未満の1地区の成果目標は、販売額の増加で、未達成の主な要因は、令和4年3月に発生した福島県沖地震の被害復旧に長期間を要したことによるものである。 成果目標の達成率が90%未満の地区については、県の改善措置を踏まえ、地域協議会等における目標達成に向けた取組の改善が必要である。
秋田県	21	10	11	40.2%	9	有	9	令和5年度における産地パワーアップ計画の成果目標に対する都道府県平均達成率は40.2%と低かった。 本県では、令和5年7月14日から18日にかけて、総降水量が多いところで400ミリを超え、72時間雨量では6つ観測所で史上1位という記録的豪雨(激甚災害指定)となった。これにより、多くのほ場で浸水・冠水被害があった。中には、土砂流入などの壊滅的な被害を受けた地域もあった。 その後、7月下旬から9月中旬の2ヶ月間、極端な高温・干ばつが続いた。 この気象による生産への影響は甚大で、水稻においては一等米比率が大きく低下した。大豆、えだまめ、ねぎ、秋冬キャベツなどの露地品目においては、根痛みによる生育不良や不稔が多発した。また、トマト、しいたけなどの施設品目においては、着花不良、規格外品の増加などが多発した。 ・水稻うるち玄米 一等米比率 54% ・大豆 平均収量/10a 54% 【農林水産統計】 ・えだまめ 出荷量平年比 60% 【全農あきた販売実績5年間】 ・ねぎ // 78% // ・トマト // 74% // 県では、農業経営等復旧・継続支援対策事業(県単)により、農地再生費用や、園芸品目の種苗等経費について支援を行った。 また、技術支援の強化を図り、排水対策については、技術マニュアルの作成(令和6年3月発行)、各地域における研修会の開催、普及指導員による重点指導などにより、着実な対策の実施を図った。 高温対策については、農研機構の実証や他県の試験研究を本県においても普及するため、県内全域における実証試験と技術普及のための研修会開催などを予定している。 県として、産地生産基盤パワーアップ事業に取り組む生産者や産地が、意欲を失うことなく今後の生産に取り組めるように、そして、成果目標の達成に着実に向かうことができるように、経営面、技術面の両面からの支援を強化する。	県の成果目標の平均達成率は40.2%であり、成果目標を達成していない。 評価対象11地区中、達成率90%以上が2地区、達成率90%未満が9地区である。 達成率90%未満の地区の成果目標は、生産コストの削減が1件、販売額の増加が9件である。 これら未達成の主な要因は、生産コスト削減では、燃油高騰を始めとした資材の高騰や修理費の増加である。販売額の増加では、計画どおり面積を拡大できなかったこと、7月の大雨と8月の猛暑、干ばつ等の気象状況の影響による生産量の減少などである。輸出の増加では、新型コロナによる海外需要の減少や輸出先との交渉が成立しなかったことである。 成果目標の達成率が90%未満となった9地区については、県の改善措置を踏まえ、地域協議会等における目標達成に向けた取組の改善が必要である。

都道府県名	事業実施 地区数 ア	評価対象 外地区数 イ	評価対象 地区数 アーイ	成果目標の 平均達成率	評価対象 地区数のうち、都道府 県が地域 協議会へ 改善指導を 必要とした 地区数	地方農政 局等から都 道府県計 画の改善 指導の必要の有無	【参考】 評価対象 地区数のうち、達成率 80%未満の 地区数	都道府県による総合所見	地方農政局等による総合所見
山形県	54	26	28	49.6%	17	有	17	対象地区28件のうち未達成は17件で、水稻、果樹、野菜等を対象とし、コスト削減、販売額増加、労働生産性向上等を目標とする計画において未達成がみられた。 水稻においては、資材価格の高騰、面積拡大が計画を下回る等の要因により、目標とするコスト低減、販売額増加または労働生産性向上を達成できない計画があった。収量向上や販売先の確保を徹底するよう指導していくとともに、普及課と連携し、目標未達の原因把握とその対策の実施に対して支援を行う。 果樹においては、高温の影響による品質低下や作付面積の減少により販売額が伸びない計画があった。気象に合わせた栽培方法の指導や、作付面積の確保のため樹園地の継承対策も図り、目標達成できるよう指導する。 野菜においては、高温の影響による生産量減の影響により販売額が伸びない計画があった。講習会、研修会を通じて高温対策技術の指導していく。	県の成果目標の平均達成率は49.6%であり、成果目標を達成していない。 評価対象28地区中、達成率90%以上が11地区、達成率90%未満が17地区である。 達成率90%未満の地区の成果目標は、生産コストの削減が4件、販売額の増加が9件、契約栽培割合の増加が2件、輸出の増加が1件、労働生産性の向上が3件である。これらの未達成の主な要因は、生産コスト削減では、生産資材の高騰によるコスト増である。販売額の増加では、面積が計画どおり拡大できなかったこと、降雹や大雨、高温や干ばつ等の気象状況の影響による生産量の減少・品質の低下などである。契約栽培割合の増加では、面積が計画どおり拡大できなかったこと、新型コロナによる需要の減少などである。輸出の増加では、肥料や資材の上昇による農産物価格の上昇により取引先の発注量が減少したことである。労働生産性の向上では、ドローンによる防除面積の減少や高温少雨などの気象状況の影響による品質低下により選別の手間が増えたことなどである。 成果目標の達成率が90%未満となった17地区については、県の改善措置を踏まえ、地域協議会等における目標達成に向けた取組の改善が必要である。
福島県	19	10	9	71.0%	3	有	3	評価対象9地区のうち6地区において目標を達成した。 生産コストの削減を目標とした地区においては、産地内の各生産者における規模拡大やコスト削減の取組みにより成果目標を達成した。 販売額の増加を目標とした地区においては、生産資材の導入による安定した収量の確保と高品質化が実現したことで成果目標を達成した。 なお、未達の3地区においては、コスト削減の取組を上回る肥料代等の高騰や高温・降雨の影響での期待される収量の確保ができていないことから、継続的に関係機関と連携し技術指導等を行っていく。	県の成果目標の平均達成率は71.0%であり、成果目標を達成していない。 評価対象9地区中、達成率90%以上が6地区、達成率90%未満が3地区である。 達成率90%未満の地区の成果目標は、生産コスト削減が1件、販売額の増加が2件である。これらの未達成の主な要因は、生産コスト削減では、肥料購入費の増や修繕費の増加である。販売額の増加では、面積が計画どおり拡大できなかったこと、高温・少雨の気象状況により生産量の減少や品質の低下などである。 成果目標の達成率が90%未満となった3地区について、県の改善措置を踏まえ、地域協議会等における目標達成に向けた取組の改善が必要である。

別添様式3

成果目標の達成率が80%未満の地域協議会

【東北農政局】

都道府県名	市町村名	地域協議会名	整理番号	作物等区分 (対象作物名)	成果目標	現状値	目標値 (R5)	事業実施後(目標年度)	目標達成状況	(参考) 都道府県による改善指導の判断理由
								実績値		
青森県	弘前市	ひろさき農業総合支援協議会	1-06-7	そば	販売額の10%以上の増加 【15.0%の増加】	3,346円/10a	3,848円/10a	527円/10a	-561.6%	7月下旬に、体調を崩した従業員がおり作業可能な従業員を十分に確保できず収量の高位安定化を図るために適正な栽培管理ができる生産体制を構築できなかった。これにより、例年より1か月程度播種作業に遅れが生じ十分な初期生育が確保できなかったこと等で収量や品質を確保できなかったことにより、成果目標を達成できなかった。従業員を確保し、適期作業ができる管理体制を整えた上で、発芽時等、生育初期の湿害を防ぐための排水対策の確実な実施、適期刈取など、基本技術の励行を徹底するよう関係機関が一体となって目標達成に向けて指導していく。
青森県	むつ市	むつ市地域農業再生協議会	1-36-1	施設野菜(いちご)	販売額の10%以上の増加(総販売額) 【76.0%の増加】	37,512千円	66,027千円	56,069千円	65.1%	令和5年度は異常な高温の影響により収量が減少し、販売額が下がった。今後は、関係機関と連携して、遮光カーテン等の高温対策技術について継続的に指導するほか、土壌消毒の実施を指導し、収量及び品質向上に向けた取組を進め、令和6年度の目標達成を見込む。

(注) 1. 本表は、要領第16の4により、都道府県が改善措置の指導が必要とした地域協議会のうち、成果目標の達成率が80%に満たなかった地域協議会(要領第17の2関係)について記入する。

2. 実績欄は、地域(県又は国を含む)の販売単価による価格補正を行っている場合は価格補正後の実績を記入する。

別添様式3

成果目標の達成率が80%未満の地域協議会

【東北農政局】

都道府県名	市町村名	地域協議会名	整理番号	作物等区分 (対象作物名)	成果目標	現状値	目標値 (R5)	事業実施後(目標年度)	目標達成状況	(参考) 都道府県による改善指導の判断理由
								実績値		
岩手県	一関市	一関地方農業再生協議会	4	ピーマン	販売額10%以上の増加 (総販売額) 【51.6%の増加】	298,077千円 (2013～2017の平均)	451,798千円	403,944千円	68.9%	取組主体10名のうち7名は目標を達成したが、産地目標は未達となった。 産地として生産者の高齢化による人数減、経営規模縮小が進み、取組主体においても資材高騰等の影響から規模拡大に慎重な姿勢となり、栽培面積が目標通り増えず目標販売額を達成できなかった。集落営農組織等への声かけに加え、新規就農トータルサポートシステムによる新規就農者の確保や、JAによる新規栽培者向けの研修会による新規栽培者の確保も進め、産地全体の栽培面積を確保し、生産量、販売額の増加を図る。また、収量向上に繋がるかん水対策の推進を柱に、遮熱資材を活用する等高温対策の基本技術を徹底し、産地の生産量の底上げできるよう、今後も地域協議会と連携して目標達成に向けて支援していく。
岩手県	一関市	一関地方農業再生協議会	5	施設野菜(トマト)	販売額の10%以上の増加(総販売額) 【171.1%の増加】	40,057千円	108,836千円	77,633千円	54.6%	取組主体14名のうち10名が目標未達となり、産地目標も未達となった。 産地として高齢化等の影響による面積減少が進む中、取組主体においても、資材代、肥料費、人件費等の高騰により、予定通りに規模拡大しにくい状況となっていることが面積の伸び悩みに繋がっている。新規栽培者確保のため、研修会等での推進をはかることとしている。 取り組み主体ごとの課題(栽培管理の遅れ、高温による花落ち等)と対策(適期管理、遮熱対策等)が整理されていることから、対策が着実に実行できるよう、今後も地域協議会と連携して目標達成に向けて指導会等を通し支援していく。

都道府県名	市町村名	地域協議会 名	整理番号	作物等 区分 (対象作物 名)	成果目標	現状値	目標値 (R5)	事業実施後(目 標年度)	目標 達成 状況	(参考) 都道府県による改善指導の判断理由
								実績値		
岩手県	大槌町	大槌町地域 農業再生協 議会	1	水稻	販売額の10%以上の増 加(総販売額) 【34.8%の増加】	14,203千円	19,149千円	16,531千円	47.1%	地力が低い農地において単収向上へ向けた適正 施肥に係る実証で収量向上の結果が得られてい ることから現地導入を進めつつ、適正施肥設計支 援等も併せながら、今後も関係機関が連携して目 標達成へ向けて支援していく。

(注) 1. 本表は、要領第16の4により、都道府県が改善措置の指導が必要とした地域協議会のうち、成果目標の達成率が80%に満たなかった地域協議会
(要領第17の2関係)について記入する。

2. 実績欄は、地域(県又は国を含む)の販売単価による価格補正を行っている場合は価格補正後の実績を記入する。

別添様式3

成果目標の達成率が80%未満の地域協議会

【東北農政局】

都道府県名	市町村名	地域協議会名	整理番号	作物等区分 (対象作物名)	成果目標	現状値	目標値 (R5)	事業実施後(目標年度)	目標達成状況	(参考) 都道府県による改善指導の判断理由
								実績値		
宮城県	美里町	美里地域農業再生協議会	2	レタス類	販売額の10%以上の増加 【2,588.2%の増加】	910,000円/10a	24,462,719円/10a	12,198,714円/10a	47.9%	福島県沖地震からの復旧工事に時間を要したため目標の達成率が50%を切った。その一方で、令和4年度は達成率が10%未満であったことを踏まえると、迅速な復旧工事及び販路開拓等の企業努力を一定程度評価できる。 取組主体の評価にある通り、安定生産と販促活動等の充実により、目標の達成早期達成に期待する。

(注) 1. 本表は、要領第16の4により、都道府県が改善措置の指導が必要とした地域協議会のうち、成果目標の達成率が80%に満たなかった地域協議会（要領第17の2関係）について記入する。

2. 実績欄は、地域（県又は国を含む）の販売単価による価格補正を行っている場合は価格補正後の実績を記入する。

別添様式3

成果目標の達成率が80%未満の地域協議会

【東北農政局】

都道府県名	市町村名	地域協議会名	整理番号	作物等区分 (対象作物名)	成果目標	現状値	目標値 (R5)	事業実施後(目標年度)	目標達成状況	(参考) 都道府県による改善指導の判断理由
								実績値		
秋田県	仙北市	仙北市地域農業再生協議会	3	水稻	生産コストの10%以上の削減 【10.1%の削減】	43,781円/10a	39,351円/10a	46,254円/10a	-49.8%	燃油高騰に対し減肥などの対策に取り組んでいたが、その他経費(修理費等)の増などで、目標の生産コスト削減にまでつながらなかった。今後は、現在の生産管理を維持しながら、生産性(単収)を高める指導支援を行っていく。
秋田県	能代市	能代市農業再生協議会	8	ねぎ	販売額の10%の増加(総販売額) 【146%の増加】	ねぎ 46,430千円 水稻 3,430千円 大豆 754千円 合計 50,614千円	ねぎ 124,634千円	ねぎ 105,307千円	73.9%	R5年7月の大雨とその後8月以降の猛暑、干ばつの影響で、病害(軟腐病、茎盤褐変症状)が大発生し、収穫量が減少した。 対策の技術指導については、排水対策については、明渠の深さ、補助暗渠の間隔など更なる改善を図る。また、高温対策のためには、灌水チューブやスプリンクラーの設置について、指導する。
秋田県	能代市	能代市農業再生協議会	10	ねぎ・キャベツ	販売額の10%以上の増加(総販売額) 【66.8%の増加】	ねぎ 41,916千円 キャベツ 24,997千円 水稻 1,971千円 合計 68,884千円	ねぎ 80,185千円 キャベツ 34,688千円 合計 114,873千円	ねぎ 53,155千円 キャベツ 13,064千円 合計 66,219千円	-5.8%	(ねぎ)7月の大雨と8月の猛暑、干ばつの影響で、病害(軟腐病、茎盤褐変症状)が大発生し、収穫量が減少した。 排水対策は実施しているが、より改善(明渠の深さ、補助暗渠の間隔)を図る。 (キャベツ)定植後の8月が猛暑、少雨だったため、株の枯死が発生し、収穫量が減少した。 定植時期の分散(特に一部遅らせるなど)により、高温少雨年における危険分散を図る。 (共通事項)高温対策時には緊急的に活用できるよう、灌水チューブやスプリンクラーを準備するよう指導する。

都道府県名	市町村名	地域協議会名	整理番号	作物等区分 (対象作物名)	成果目標	現状値	目標値 (R5)	事業実施後(目標年度)	目標達成状況	(参考) 都道府県による改善指導の判断理由
								実績値		
秋田県	横手市 美郷町	横手市農業 再生協議会	8	野菜及び花き(きゅうり、ねぎ、えだまめ、ほうれんそう・こまつな、キャベツ、すいか、キク、ユリ、シンビジウム(鉢・切り花)、トルコギキョウ、その他花き)	販売額の10%以上の増加(総販売額) 【10.4%の増加】	2,545,476千円	2,809,072千円	1,808,490千円	-279.6%	①野菜・花きに関しては、R5年7月の大雨、R5年7～9月の異常高温の影響が大きく、生産量が特に落ち込んだ枝豆、キャベツ、キクについては協議会で示した対策の実践について県が連携し指導する。 また、事業実施前年と比べ作付面積の減少が販売額の伸び悩みの要因となっているため、新規就農者の確保や法人の経営規模拡大への助言も行いながら、目標達成に向けて取り組んでいく。さらに予冷可能な大型貯蔵施設を有効活用についても、指導していく。 ②輸出枝豆に関しては、取引先との価格面の折り合いが付かず、輸出実績は目標を大幅に下回る結果となったが、前年は目標達成していた。今後は、輸出向けの生産量を確保できる見通しであることから、新たな取式先との交渉や、県の輸出版売戦略により把握している市場の情報も提供しながら目標が達成されるよう指導していく。
				えだまめ	輸出向け年間出荷量10トン以上 10トン	0t	10t	1t	10.0%	
秋田県	秋田市	秋田市農業 再生協議会	8	露地野菜(えだまめ)	販売額の10%以上の増加 【69.8%の増加】	93,971円/10a (内訳) 水稻 7,255千円/7.7ha えだまめ 2,142千円/2.3ha	159,600円/10a	97,292円/10a	5.1%	R5年7月の大雨やその後の高温の影響を大きく受けたため、講習会や現地指導により、気象変動の影響を軽減するための対策について指導を行う。特に、圃場準備時に排水対策を徹底すること(明渠施工による表面排水の促進や排水溝の点検整備等)、地温確保による発芽率の向上、高温対策(高温乾燥時の土壌水分の確保のため中耕・培土による根量の増加や畝間灌水等による土壌水分の確保など)について、指導を行う。また、施肥設計、虫害の対する適期防除や調整作業の効率化についても併せて指導する。

都道府県名	市町村名	地域協議会名	整理番号	作物等区分 (対象作物名)	成果目標	現状値	目標値 (R5)	事業実施後(目標年度)	目標達成状況	(参考) 都道府県による改善指導の判断理由
								実績値		
秋田県	大仙市	大仙市農業再生協議会	4	だいこん	販売額の10%以上の増加 【20.7%の増加】	【水稻】 124,313円/10a	【だいこん】 150,000円/10a	【だいこん】 83,572円/10a	-160.1%	R5年7月の大雨により、圃場条件(排水)の良い農地を選んで作付をしたため栽培面積は昨年度より減少した。また、豪雨や高温の影響により生育停滞で生産量は減少した。 ねぎ部門の収穫・調整作業について、雇用者がまだ不慣れで時間を要し、だいこん管理作業に遅れが見られたことから、だいこん栽培の播種時期分散やほ場選定など安定生産に向けた指導と併せ、ねぎ作業の効率化を支援することで、計画全体の達成に向けた指導を行う。
秋田県	仙北市	仙北市地域農業再生協議会	4	ねぎ	販売額の10%以上の増加(総販売額) 【139.6%の増加】	13,283千円	31,831千円	16,342千円	16.5%	R5年7月以降の豪雨・高温などの影響で大幅に生産量は落ち込んだ。また、栽培面積は基盤整備事業等や大雨被害の影響により当初計画面積にまで達していない。R5年に基盤整備が完了し、本暗きょ工事も順次完成するため、ねぎを作付できるほ場は増加する見込みである。今後は、作付前からの気象対策(排水対策等)と、技術向上による作付拡大を進め、生産性を高める栽培技術の指導助言を行い、ねぎ生産量の拡大を支援していく。
秋田県	美郷町	美郷町地域農業再生協議会	3	露地ねぎ	販売額の10%以上の増加(総販売額) 【341.5%の増加】	水稻 5,538千円	ねぎ 24,449千円	ねぎ 17,559千円	63.6%	当地区は、ねぎの新規産地で生産農家の栽培技術の確立を核に指導を進めてきた。結果、栽培技術の向上が見られてきたもののR5年の豪雨・高温等の影響のほか、R5年に栽培規模が急激に増え、大規模栽培の管理の遅れなどもあり、生産量は大幅に(単収減)落ち込んだ。 人員の確保と合わせ、近隣の技術の高い法人に職員を派遣することや、トヨタカイゼンの指導研修を行うことなどにより、生産量の増加を指導していく。 また、天候等に対応した栽培管理の指導に重点をおきながら、生産性・品質向上指導を引き続き行っていく。
秋田県	横手市	横手市農業再生協議会	6	新規需要米 (輸出用米)	輸向け出荷量の10%以上の増加 【32.3%の増加】	104.1t	137.7t	122.2t	53.8%	新型コロナの影響で海外取引先からの需要が減り目標達成とはならなかったが、新規取引先も増えてきており出荷量は回復傾向にある。県としても引き続き支援を行っていく。

(注) 1. 本表は、要領第16の4により、都道府県が改善措置の指導が必要とした地域協議会のうち、成果目標の達成率が80%に満たなかった地域協議会(要領第17の2関係)について記入する。

2. 実績欄は、地域(県又は国を含む)の販売単価による価格補正を行っている場合は価格補正後の実績を記入する。

別添様式3

成果目標の達成率が80%未満の地域協議会

【東北農政局】

都道府県名	市町村名	地域協議会名	整理番号	作物等区分 (対象作物名)	成果目標	現状値	目標値 (R5)	事業実施後(目標年度)	目標達成状況	(参考) 都道府県による改善指導の判断理由
								実績値		
山形県	河北町	河北町農業再生協議会	6	水稻	生産コストの10%以上の削減 【水稻10.1%の削減】	101,310円/10a	91,095円/10a	109,854円/10a	-83.6%	資材価格が高騰する中、面積の拡大と単収の増加が課題となって、目標が未達成となっているため、施肥設計や防除体系の見直しによる資材費の削減に取り組み、経費の削減に向けて指導していく
				大豆	生産コストの10%以上の削減 【大豆15.3%の削減】	72,423円/10a	61,315円/10a	77,428円/10a	-44.0%	面積の拡大や生産量の確保は順調に推移しているものの、生産コストの目標値は未達成となっている。機械導入に伴う作業時間の削減や、施肥設計や防除体系の見直しによる資材費の削減に取り組み、経費の削減に向けて指導していく。
山形県	真室川町	真室川町農業再生協議会	11	水稻(古代米/朝紫・米粉用米)	生産コストの10%以上の削減 【13.7%の削減】	109,540円/10a	94,486円/10a	121,883円/10a	-11.3%	機械導入したが、生産コストの削減に繋がっていない。目標達成に向け、今後は基本技術の見直しを図るとともに、普及課と連携して生産コスト増の原因把握とその対策について支援していく。
山形県	鶴岡市	鶴岡市農業振興協議会	18	水稻	生産コスト10%以上の削減 【10.1%の削減】	88,546円/10a	79,627円/10a	103,599円/10a	-168.8%	資材や燃油料等の高騰の影響は大きく目標未達となった。今後、目標達成に向け経営面積の拡大を図りながら、農地の集約化に伴う労働時間の削減や、施肥設計や防除体系の見直しによる資材費の削減により、更なるコスト削減に取り組むよう指導していく。

都道府県名	市町村名	地域協議会 名	整理番号	作物等 区分 (対象作物 名)	成果目標	現状値	目標値 (R5)	事業実施後(目 標年度)	目標 達成 状況	(参考) 都道府県による改善指導の判断理由
								実績値		
山形県	村山市	村山市地域 農業再生協 議会	2	果樹(さくら んぼ・ぶどう)	販売額の10%以上の増 加 【11.9%の増加】	51.2万円/10a	57.3万円/10a	43.4万円/10a	-127.9%	さくらんぼについては、近年、凍霜害や高温等の 気象災害に見舞われることが多かったため、生産 量の安定確保に向け、県においても適切な資材 (防霜ファン、遮光シート等)の活用や小まめなか ん水等の栽培管理について研修会を開催するな どして積極的に周知を図っていく。 また、加温さくらんぼでは、栽培管理のほか土壌 改良による樹勢の回復についても指導していく。 ぶどうについては、研修会の開催や生産マニユ アルの配布のほか、関係機関と連携した園地巡回 も行いながら、気象災害や病害に応じた栽培管 理の指導を行っていく。 やむなく離農した生産者もいたことから、新規就 農者の確保による面積の維持・拡大に向け、園 地継承に係るデータベースの開発によるマッチン グ支援や、新規就農希望者の研修園地の整備に 対する補助等を行い、関係機関と連携しながら、 園地継承・担い手確保対策を進めていく。
山形県	河北町	河北町農業 再生協議会	8	果樹(ぶど う、さくらん ぼ)	販売額の10%以上の増 加 【10.2%の増加】	1,240千円/10a	1,366千円/10a	1,296千円/10a	44.4%	ぶどうについては、令和3年度に新植した園地で の収穫が今後見込まれるため、目標は達成でき る見通しとなっている。県においても研修会を開 催し、樹勢に応じた剪定等、栽培技術の向上を引 き続き支援していく。 さくらんぼは、高温が予想される場合のハウスの 換気、反射シートをはがす等の対策や適期収穫 の励行など、関係機関と連携して栽培管理の指 導を行っていく。
山形県	金山町	金山町地域 農業推進協 議会	1	にら	販売額の10%以上の増 加(総販売額) 【15.3%の増加】	85,700千円	98,843千円	87,901千円	16.7%	近年は高温・干ばつや豪雨などの異常気象が増 えており、目標達成に向け、夏場の収量増が課題 である。今後はJA、県、町が連携して、高温に強 い品種の導入や灌水等の高温対策技術を含めた 研修会を開催するなどして支援していく。

都道府県名	市町村名	地域協議会 名	整理番号	作物等 区分 (対象作物 名)	成果目標	現状値	目標値 (R5)	事業実施後(目 標年度)	目標 達成 状況	(参考) 都道府県による改善指導の判断理由
								実績値		
山形県	新庄市 真室川町 大蔵村 鮭川村 戸沢村	大蔵村農業 再生協議会	6	ミニトマト	販売額の10%以上の増 加(総販売額) 【13.4%の増加】	268,302千円	304,291千円	259,657千円	-24.0%	事業実施年度から着実に単価及び総販売額が増 加しているが、体調不良者の離農による面積の 減少、夏季の高温による収量低下がみられた。 近年は豪雨や高温等の異常気象の影響が増大 しているため、気象災害にも対応できるような品 種構成の見直しや技術習得に向け、関係機関と 連携して栽培講習会等を実施し、指導していく。 また、面積の拡大に向け、新規就農者の確保が 図られるよう、県立大学や農業支援センターの情 報を提供するなどしてマッチング支援を行ってい く。
山形県	高畠町	高畠町農業 再生協議会	5	水稻	販売額の10%以上の増 加 【10.3%の増加】	145,311円/10a	160,370円 /10a	141,365円/10a	-26.2%	令和5年度は夏季高温により、品質の低下がみら れた影響により、目標達成には至らなかったが、 今後もマニアスプレッタを継続利用していくこと で目標の達成が期待できる。今後、収量・品質の向 上や販売先の確保等をとおして目標値を達成で きよう指導していく。
山形県	鶴岡市	鶴岡市農業 振興協議会	10	露地野菜 (アスパラガ ス)	販売額の10%以上の増 加(総販売額) 【504.3%の増加】	1,681,499円	10,161,569円	4,066,640円	28.1%	土壌病害や株の老化の影響で改めて定植を行わ なければならぬ圃場があったことで目標の達成 には至らなかったが、計画的に別圃場への定植 を行っており、当初の予定よりは遅れるものの、 面積拡大に努めている。 再定植後の病害対策を含めた適切な栽培管理に ついて、研修会の開催、既存マニュアルの配布 等、引き続き地域協議会等と連携して支援してい くことにより、目標達成を支援していく。
山形県	鶴岡市	鶴岡市農業 振興協議会	17	ベビーリー フ・ミニマト	販売額の10%以上の増 加(総販売額) 【144.3%の増加】	27,241,651円	66,542,394円	47,426,777円	51.4%	目標を上回る面積拡大が図られているが、土壌 病害や夏場の高温による水不足の影響が大き く、目標達成には至らなかった。 引き続き地域協議会等と連携して、高温対策や 病害対策を含めた適切な栽培管理のほか、より 収益性の高い栽培スケジュールに係る助言・指 導を行うことにより目標達成を支援していく。
山形県	酒田市	酒田市農業 再生協議会	14	ケイトウ	販売額の10%以上の増 加 【16.8%の増加】	1,199千円/10a	1,400千円/10a	944千円/10a	-126.9%	目標を上回る面積拡大が図られているが、夏場 の高温で葉焼け・花焼け等の被害が発生したこと により単収が伸び悩み、成果目標の達成とはなら なかった。関係機関と連携し、高温対策を含めた 適切な栽培管理の指導等を行うことにより引き続 き目標達成を支援していく。

都道府県名	市町村名	地域協議会 名	整理番号	作物等 区分 (対象作物 名)	成果目標	現状値	目標値 (R5)	事業実施後(目 標年度)	目標 達成 状況	(参考) 都道府県による改善指導の判断理由
								実績値		
山形県	酒田市	酒田市農業 再生協議会	15	ほうれん草・ ミニトマト・ね ぎ	販売額の10%以上の増 加 【12.4%の増加】	736千円/10a	827千円/10a	545千円/10a	-209.9%	どの品目においても夏場の高温の影響が大きく、 品質・収穫量がともに落ち込み、目標達成とはな らなかった。 今後も高温の傾向は続くと思われるため、関係機 関と連携し、遮光資材の活用や作業時間の見直 し、こまめな灌水等の高温対策を含めた適切な栽 培管理のほか、高温耐性品種の積極的な導入等 についても指導を行い、目標達成を支援していく。
山形県	新庄市	新庄市農業 再生協議会	6	水稻	契約栽培割合の10%以 上の増加かつ50%以上 【34.3%の増加】	契約栽培の割 合 23.1%	契約栽培の割 合 57.4%	契約栽培の割 合 40.8%	71.1%	栽培面積と契約栽培米の割合ともに目標を達成 にいたらなかった。今後は面積の拡大を支援する とともに、引き続き契約栽培割合が増えるよう、高 品質米生産のための情報提供等を通じて支援し ていく。
山形県	大蔵村	大蔵村農業 再生協議会	7	そば	契約栽培割合の10%以 上の増加かつ50%以上 【50%の増加】	契約栽培の割 合 0.0%	契約栽培の割 合 50.0%	契約栽培の割 合 36.8%	73.6%	コロナ禍の需要回復の遅れから目標未達成と なった。また、令和5年産は8月からの異常高温 により収量低下が生じている。今後は、県の高温 対策マニュアルを活用した技術の周知を図るとと もに、販路拡大に向け、取組主体自らが需要を把 握し、新規契約に向けて取組めるよう支援してい く。
山形県	寒河江市	寒河江市農 業再生協議 会	5	果樹(さくら んぼ)	輸向向け出荷量の10% 以上の増加 【254.5%の増加】	560kg	1,985kg	985kg	29.8%	地域協議会と連携して、収穫量の安定確保に取 組むとともに、輸出先との価格交渉等、需要を伸 ばす取組みを強化するよう指導していく。
山形県	鮭川村	鮭川村農業 再生協議会	5	水稻	労働生産性の10%以上 の向上 【10.9%の向上】	4,078円/h	4,523円/h	3,947円/h	-29.4%	令和5年度は、直播栽培への取組みが出来な かったことや高温による1等米比率の低下により 目標未達となった。 今後は目標達成に向けて、直播栽培技術の指導 を行い、面積拡大を支援していく。また高温対策 の情報提供や栽培研修会等の技術支援を行い、 品質の向上を支援していく。

都道府県名	市町村名	地域協議会 名	整理番号	作物等 区分 (対象作物 名)	成果目標	現状値	目標値 (R5)	事業実施後(目 標年度)	目標 達成 状況	(参考) 都道府県による改善指導の判断理由
								実績値		
山形県	白鷹町	白鷹町農業 再生協議会	6	大豆	労働生産性の10%以上 の向上 【148.7%の向上】	9,280円/h	23,077円/h	4,669円/h	-33.4%	記録的な高温・少雨や、需要の変化で目標を大幅に下回ってしまったので、今後も高温・少雨等の気象に応じた対応技術を徹底し品質向上に努めるよう、県の作成した「水稻・大豆高温少雨対策マニュアル」(令和6年3月、山形県農林水産部)」に基づき、取組主体が具体的な対策を講じるよう、地元の普及課が指導にあたる。 栽培面積が目標を下回っていることについては、本事業における目標の大豆生産計画に沿って生産できるよう、再度、課題や最新の需要を確認したうえで、作付計画を立てるよう、再生協及びJAとともに指導する。
				種子大豆	労働生産性の10%以上 の向上 【120.6%の向上】	10,463円/h	23,077円/h	13,480円/h	23.9%	

(注) 1. 本表は、要領第16の4により、都道府県が改善措置の指導が必要とした地域協議会のうち、成果目標の達成率が80%に満たなかった地域協議会(要領第17の2関係)について記入する。

2. 実績欄は、地域(県又は国を含む)の販売単価による価格補正を行っている場合は価格補正後の実績を記入する。

別添様式3

成果目標の達成率が80%未満の地域協議会

【東北農政局】

都道府県名	市町村名	地域協議会名	整理番号	作物等区分 (対象作物名)	成果目標	現状値	目標値 (R5)	事業実施後(目標年度)	目標達成状況	(参考) 都道府県による改善指導の判断理由
								実績値		
福島県	只見町	只見町農業再生協議会	2	水稻	生産コストの10%以上の削減 【13.0%の削減】	89,886円/10a	78,166円/10a	85,295円/10a	39.2%	取組面積、生産量は増加しているが、コスト削減の目標は達成できなかった。生産資材の高騰や修繕費の増加に伴いコスト高の影響が要因ではあるが、調達コストの削減が出来ることから取り組むよう指導していく。 農林事務所は必要に応じJA及び農業再生協議会と連携し、ほ場整備の拡大とコスト削減に向けた情報提供と指導助言を行う。
福島県	喜多方市	喜多方市農業振興協議会	2	施設野菜 (アスパラガス、キュウリ、ミニトマト)	販売額の10%以上の増加 【10.3%の増加】	アスパラガス 146.9万円/10a キュウリ 475.6万円/10a ミニトマト 285.3万円/10a 計 260.9万円/10a	アスパラガス 200.3万円/10a キュウリ 564.8万円/10a ミニトマト 317.3万円/10a 計 287.8万円/10a	209万円/10a	-192.9%	令和5年度の夏の気候は喜多方市において記録的な高温・少雨となり、夏秋出荷の対象品目は生育に大きな影響を受けた。 かん水設備を付帯した施設栽培においても、水不足とはならなかったものの、施設内が高温となり生育障害を生じ、収量が大幅に減少し、目標を達成することができなかった。 かん水設備とともに高温対策資材を導入した施設では、安定的な収量の確保・増加と高品質化が実現できていることから、産地における取組の推進を支援していく。 また、産地においてミニトマトを除く各品目の面積が拡大傾向にあるため、規模拡大志向の生産者や新規栽培者等に対する重点的な支援を行い、目標達成に向けた取組を指導していく。
福島県	喜多方市	喜多方市農業振興協議会	3	水稻	所得額の10%以上の増加 【10.4%の増加】	18.2千円/10a	20.9千円/10a	7,585円/10a	-393.1%	令和5年夏の記録的な高温・少雨の影響を受け、米の平均単収が前年より1割程度、減少してしまった。作付面積の計画的な拡大に至らなかった。 水稻の目標面積72haを達成し、所得額を拡大できるよう、農地集積と導入した高効率コンバインと穀物乾燥調整施設による効率化と品質の向上及び単収増加に向けた生産技術を指導していく。

- (注) 1. 本表は、要領第16の4により、都道府県が改善措置の指導が必要とした地域協議会のうち、成果目標の達成率が80%に満たなかった地域協議会(要領第17の2関係)について記入する。
2. 実績欄は、地域(県又は国を含む)の販売単価による価格補正を行っている場合は価格補正後の実績を記入する。